

# とちぎの財政

(平成25年度)



「とちまるくん」 栃木県元気ニコニコ係リーダー

## “チームとちぎ” の力でつくる 元気度 日本一 “とちぎ” づくり予算

I 東日本大震災からの復興と原子力災害対策への積極的な取組

II 新とちぎ元気プランの着実な推進

政策の基本「人づくり」

暮らしを支える安心戦略

明日を拓く成長戦略

未来につなぐ環境戦略

とちぎづくり戦略の推進に向けて



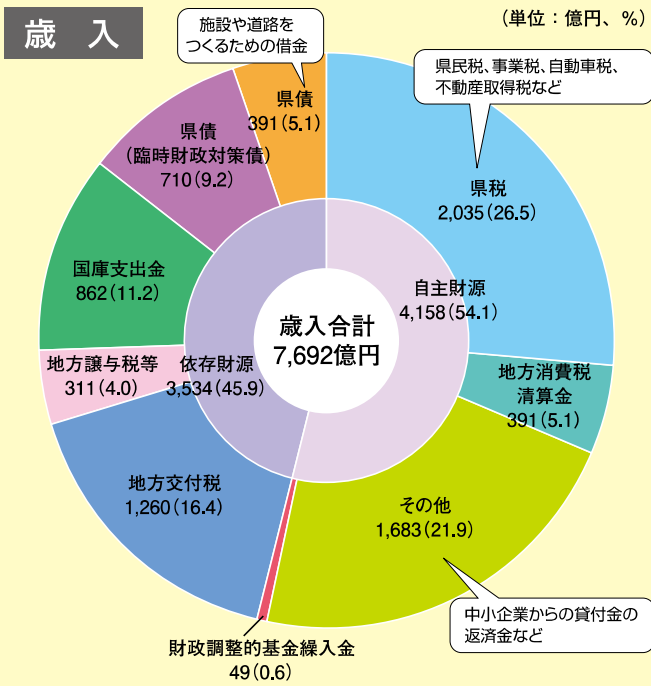
栃木県

Tochigi Prefecture

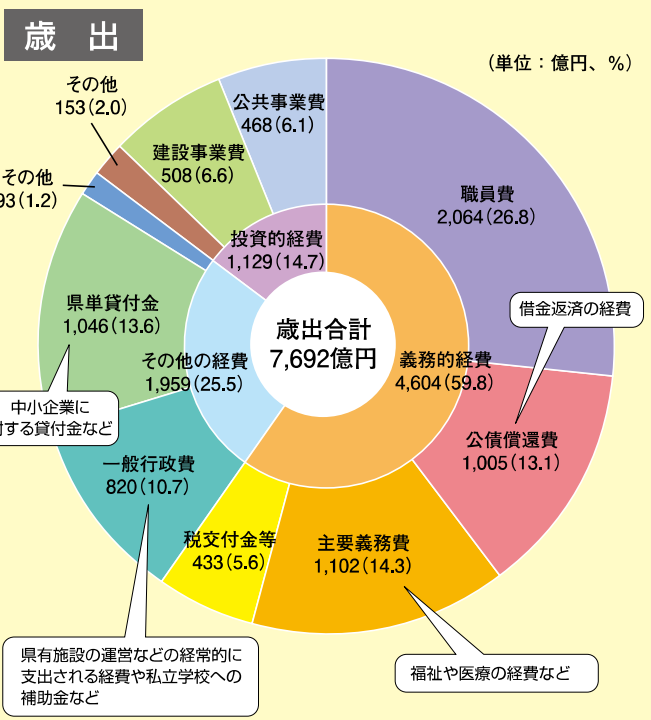
# 1 平成25年度当初予算の概要等

◎予算規模 7,692億2,000万円

- 「とちぎ未来開拓プログラム」の目標である「収支均衡予算」の編成
- 東日本大震災からの復興と原子力災害対策への積極的な取組
- 「新とちぎ元気プラン」に掲げる「安心」「成長」「環境」の3つの重点戦略の着実な推進



- 歳入のうち、約27%が県税です。地方交付税、国庫支出金など国からくるものが約32%あります。
  - 全体の約14%を借金（県債）でまかなっているほか、足りない部分は貯金を取り崩しています。（財政調整的基金繰入金）
  - 借金（県債）については、国の地方財源不足対策による臨時財政対策債（臨財債）が約2/3を占めています。
- ※ **臨時財政対策債（臨財債）とは**  
 臨時財政対策債は、国から地方公共団体に配分する地方交付税が足りないため、その不足する金額の一部を、いったん地方公共団体に借り入れをしてまかなう県債のことです。  
 なお、返済する際の財源は、全額、地方交付税で補てんすることとされています。



- 歳出のうち、約27%を職員費が占めています。このうち、公立小中高等学校の先生や警察官の給与などが約84%を占めています。
- 職員費のほか、公債償還費や主要義務費など**義務的経費が全体の約60%**を占めています。



# 平成25年度予算の特徴

## I 東日本大震災からの復興と原子力災害対策への積極的な取組（総額338億円）

### <県民生活の安定>

- 「栃木県誕生140年県民の日記念事業」による本県元気度の県内外への発信
- 震災等の影響による失業者の雇用創出 など

### <経済・産業活力の回復>

- 台湾、香港へのキャラバン隊派遣による観光誘客や県産食品の安全性のPR
- 県内観光地への宿泊客の誘客を促進するための「プレミアム付宿泊旅行券」の発行
- 「とちぎ元気グルメまつり」の開催 ○被災中小企業に対する復興緊急資金の貸付 など

### <災害に強い地域づくり>

- 「とちぎ防災基本条例（仮称）」制定に向けた検討 ○大規模地震に伴う被害予測調査
- 県、市町村、民間における防災拠点施設への再生可能エネルギーの導入
- 災害時の被害を軽減させるための避難路や避難所周辺の歩道・橋梁等の整備 など

### <原子力災害対策>

- 汚染状況重点調査地域内の県有施設の除染の実施
- しいたけ原木・種駒等の導入助成、「とちぎのきのこ」ブランド復興キャンペーンの実施
- 県産農水産物のモニタリング検査、肉用牛の出荷時全頭検査の実施 など

### <災害復旧対策>

- 本年7月の全面オープンに向けた「一万人プール」の災害復旧 など

## II 新とちぎ元気プランの着実な推進

### 政策の基本「人づくり」

- 悉皆方式による県版学力調査の実施準備
- 高等特別支援学校の整備
- グローバル人材育成のための高校生の留学支援
- 海外販路開拓を担う企業人材の育成
- いじめ未然防止対策の調査研究、県民大会の開催
- 総合スポーツゾーンの全体構想策定
- 第27回全国健康福祉祭とちぎ大会（ねんりんピック栃木2014）の開催準備
- 第69回国民体育大会冬季大会（日光国体）の開催 など

### 重点戦略1：暮らしを支える安心戦略

- 児童養護施設退所児童等への住居・就労・生活資金等の援助に対する助成
- 保育所等の整備に対する助成、保育士の処遇改善支援
- 「健康づくり推進条例（仮称）」の制定、ヘルシーグルメ選手権の開催
- 在宅医療推進支援センターの設置 ○がん患者の在宅医療体制の構築
- 産科医修学資金の貸与等による医師確保対策の実施
- とちぎメディカルセンター、新小山市民病院、上都賀総合病院の整備の支援
- 公共交通ネットワーク重点課題分析・改善方策の検討 ○県独自の被災者生活再建支援制度の創設 など

### 重点戦略2：明日を拓く成長戦略

- 企業立地・集積促進補助金、産業定着集積促進支援補助金の補助対象の拡大
- 中小企業金融円滑化法の期限切れに対応する「金融円滑化特別相談窓口」の設置
- メディアを活用した新品種「スカイベリー」を中心としたPR
- 農業の6次産業化チャレンジへの支援 ○フードバレーとちぎの実現に向けた農商エビジネスマッチング支援
- 観光誘客総合戦略（仮称）の策定 など

### 重点戦略3：未来につなぐ環境戦略

- 本県のエネルギー戦略の策定のための調査
- 照明のLED化等の県有施設の省エネルギー化
- 河川における小水力発電の適地調査
- 市町村が行う特色ある再生可能エネルギー導入の取組に対する助成
- 木質バイオマス利用施設、木材加工流通施設、木造公共施設の整備等に対する助成 など





### とちぎづくり戦略の推進に向けて

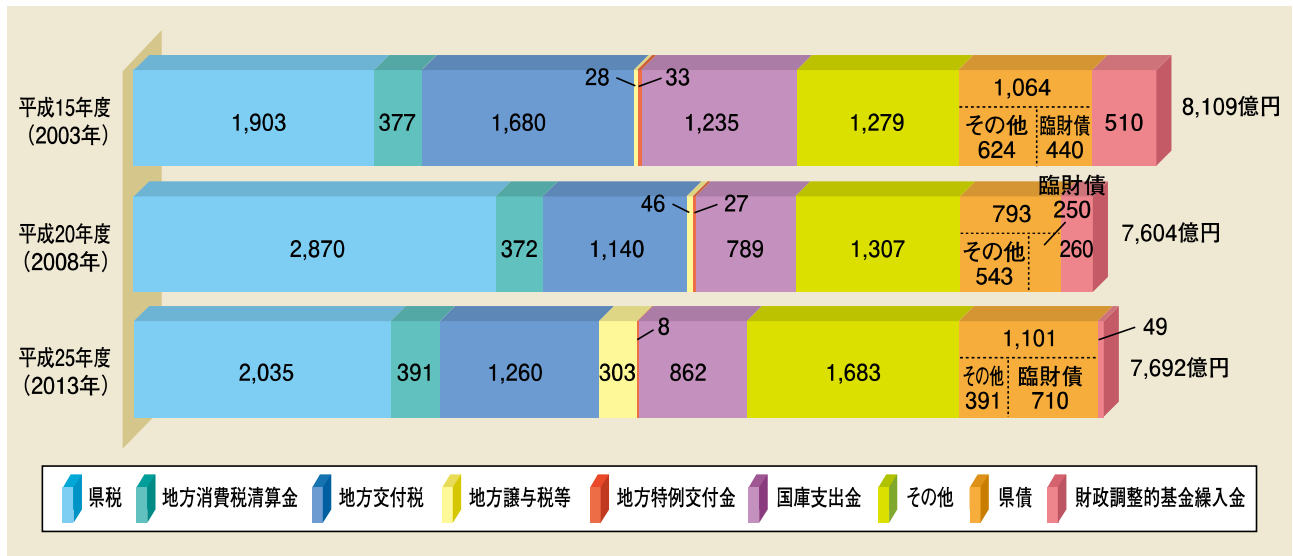
- 道路舗装長寿命化修繕計画策定及びトンネル電気設備点検の実施
- 起業支援と一体となった地域の雇用創出 など

## 2 平成25年度予算の内訳(過去の予算と比べてみると)

### 歳入



(単位：億円)

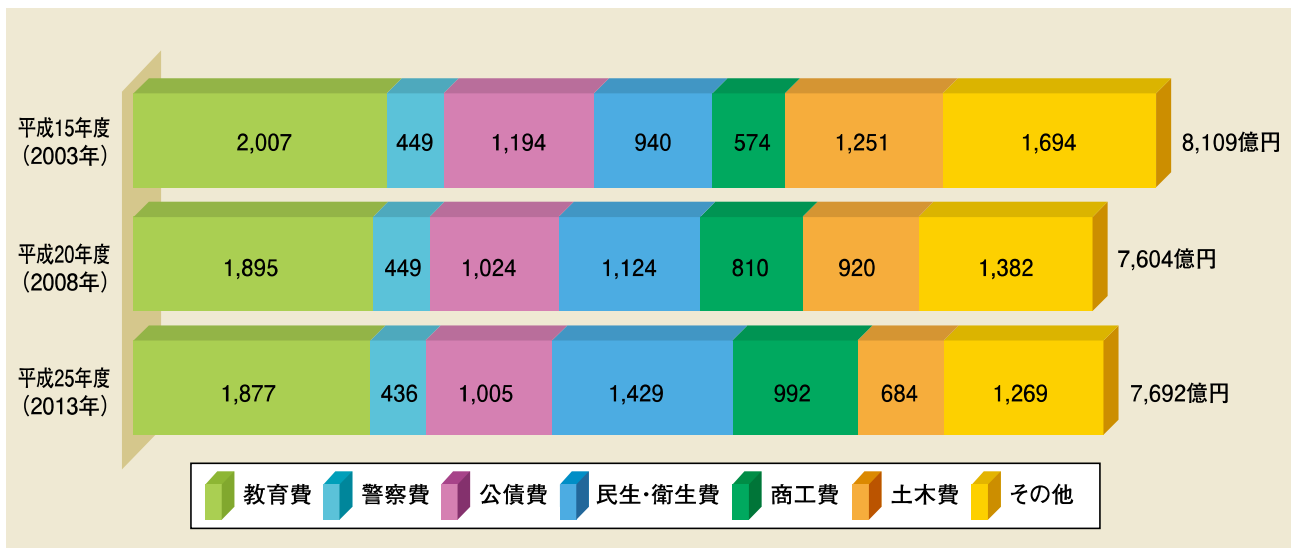
- 県税収入（）は、国からの税源移譲の影響により平成20年度には増となりましたが、その後の景気の低迷により減少しています。
- 地方交付税（）が減少する一方、臨時財政対策債（）は大きく伸びています。
- 財政調整的基金繰入金（）は、「とちぎ未来開拓プログラム」の取組により平成25年度には49億円まで減少しています。



### 歳出

(単位：億円)

- 過去の借金に対する返済経費（ 公債費）が年間約1,000億円あり、大きな負担となっています。また、この返済経費は、今後も増加していくことが見込まれています。
- 高齢化に伴い、福祉・医療の経費（ 民生・衛生費）が年々増えており、今後もこの傾向が続くものと見込まれます。

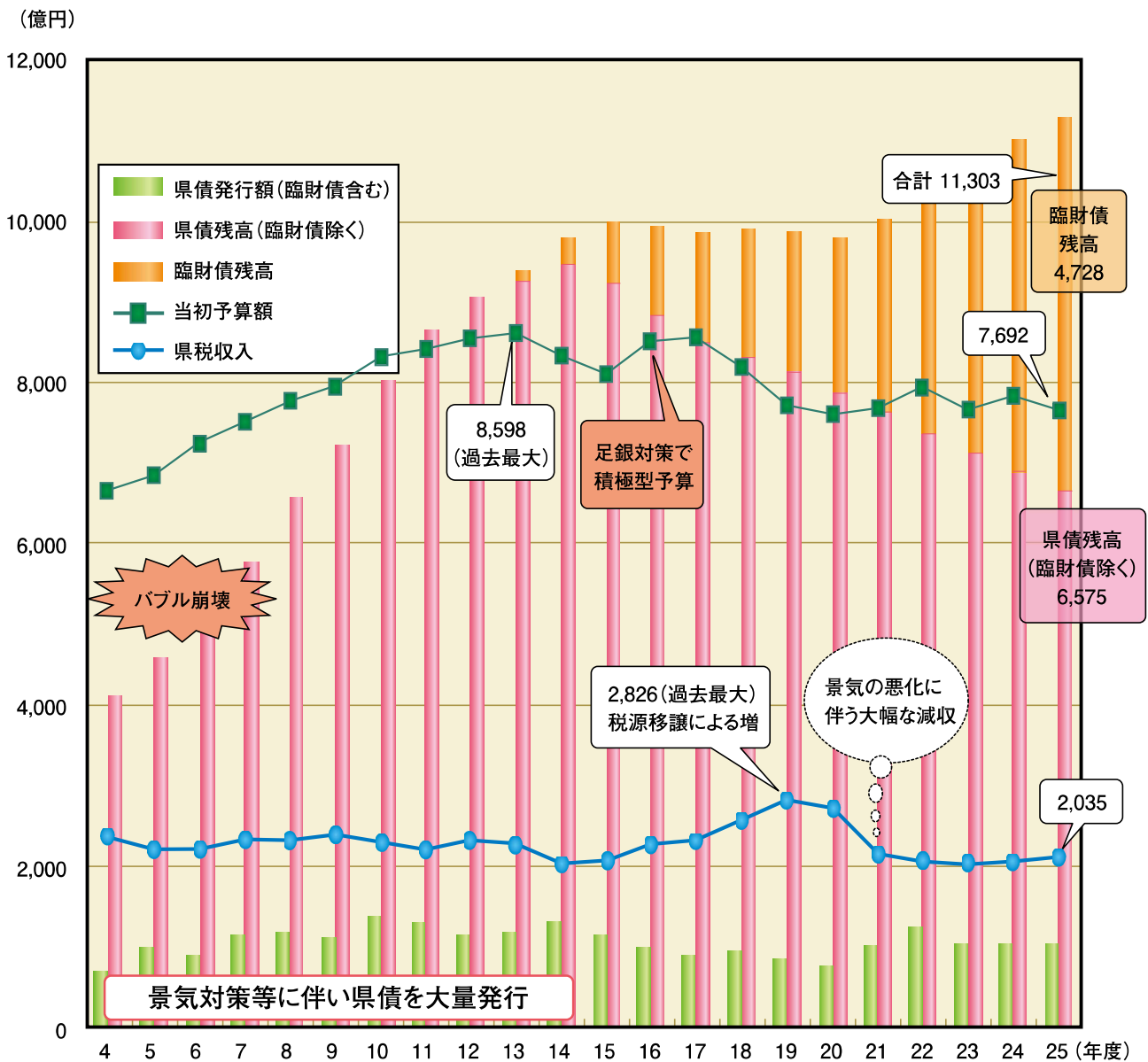


### 3 栃木県財政の推移(過去20年間をしてみると)

○予算規模（当初予算額 ■■ ）は、平成13年度をピークに、近年は7,000億円台で推移しています。

○県税収入は、税源移譲により平成19年度に過去最大となりましたが、以後は景気低迷により減少しています。平成25年度は2,035億円となり、平成19年度の7割程度となることが見込まれています。

○バブル崩壊後、平成4年度から景気対策を行ったことにより県債を大量に発行しました。  
近年は、臨時財政対策債以外の県債が減少し続けている一方で、国の地方財源不足対策により臨時財政対策債が増加しており、全体としては約1.1兆円となっています。



※県債残高、県債発行額及び県税収入については、23年度までは決算額、24年度は2月補正後、25年度は当初予算額です。

国等の動き

経済対策の実施(国・地方)

三位一体の改革  
(H15~H18)

とちぎ未来開拓  
プログラム  
(H21~H24)

# 4 「とちぎ未来開拓プログラム」の取組と成果(平成21年10月策定)

## プログラム策定時の収支見通し〔H21～H25〕

- 貯金(財政調整的基金)はゼロ……なのに
- 毎年度300億円を超える財源不足が発生し、財政再生団体へ転落の可能性あり

財政再生団体転落を回避するため

### 財政健全化のための 「とちぎ未来開拓プログラム」の策定

自律的な行財政基盤の確立による県民満足度の高い県政の実現

- <目標>  
収支均衡予算の編成(平成25年度～)
- <集中改革期間>  
平成21～24年度(4年間)



- <プログラムの取組内容>
  - 内部努力の徹底
  - 行政経費の削減
  - 歳入の確保

## プログラムの取組成果

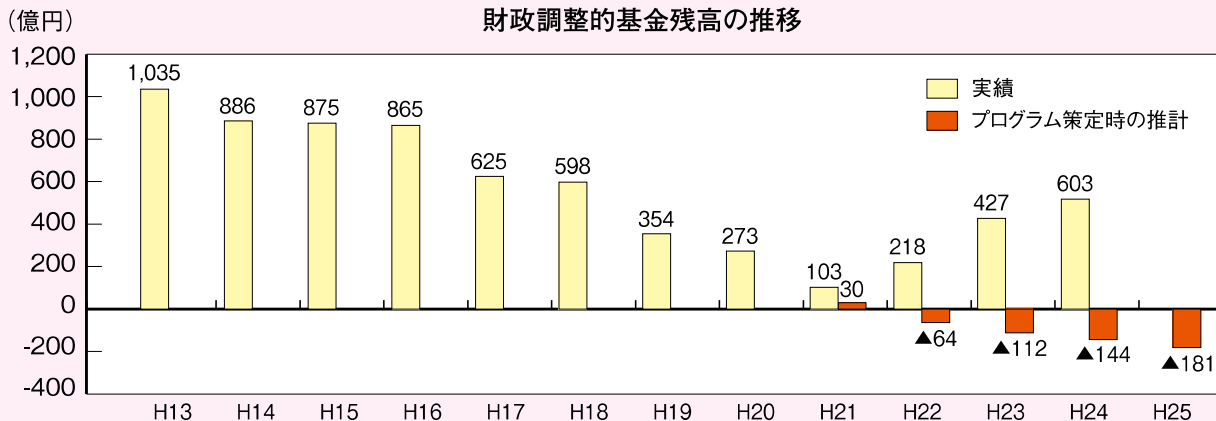
### ①「収支均衡予算の編成」を達成(平成25年度当初予算)

[当初予算ベース実績] (億円)

	H22	H23	H24	H25
プログラム取組前の財源不足額(A)	▲296	▲314	▲379	▲369
プログラムによる取組効果(B)	174	236	292	320
プログラム取組後の財源不足額(A+B)	▲122	▲78	▲87	※▲49

※財源不足額は49億円であるが、毎年度、実質収支(繰越金)が60億円程度生じており、当初予算に計上している10億円を除いた50億円程度が活用できることから、「収支の均衡した予算編成」となっている。

### ②財政調整的基金残高の増加



※実績については、平成24年度は3月補正後の額です。

## 5 「財政健全化取組方針」の概要(平成25年3月策定)

### <基本的な考え方>

- プログラムの集中改革期間における取組により、平成25年度当初予算では「収支の均衡した予算を編成」することができましたが、これを平成26年度当初予算以降も継続していく必要があります。
- しかし、中期財政収支見込みでは、プログラムの取組を継続する前提であっても、公債費、医療福祉関係経費等の義務的経費の増加、さらには新たな行政需要への対応等により、引き続き毎年度80億円程度の財源不足が見込まれています。
- 県政の持続的発展には、強固な財政基盤が必要であることから、平成25年度以降においても、必要な見直しを行った上で、プログラムの考え方を継承し、財政健全化の取組を緩めることなく継続していきます。

### <目標>

- 毎年度の当初予算における財源不足額を概ね実質収支（繰越金）の範囲内に収め、収支均衡予算を継続します。
- 今後の財政状況の変化や県民利用施設の整備等に対応するため、財政調整的基金の涵養に努めます。

### <取組期間>

平成25～27年度（3年間。とちぎ行革プランの終期に合わせる。）

### ○基本方針

- 要求基準の設定等による歳出の削減
  - ・予算編成に当たっての一般財源による要求基準の設定などによる歳出の削減
- 新規の大規模建設事業への対応
  - ・可能な限り一般財源を縮減、県有施設整備基金の涵養と活用
- 税外収入の確保
- 中期的視点に立った財政運営
  - ・当初予算編成に合わせ中期財政収支見込みの策定・公表
- 情勢変化への対応
  - ・国の経済対策への機動的な対応
  - ・財政見通しが大きく悪化した場合への適切な対応

### ○具体的な取組内容

#### (1)行政経費の削減

- 各部局の主体的判断による事務事業の見直しの推進
- 公共事業等の適切な実施
- 執行段階での節約
- 新たな大規模建築物の計画的整備

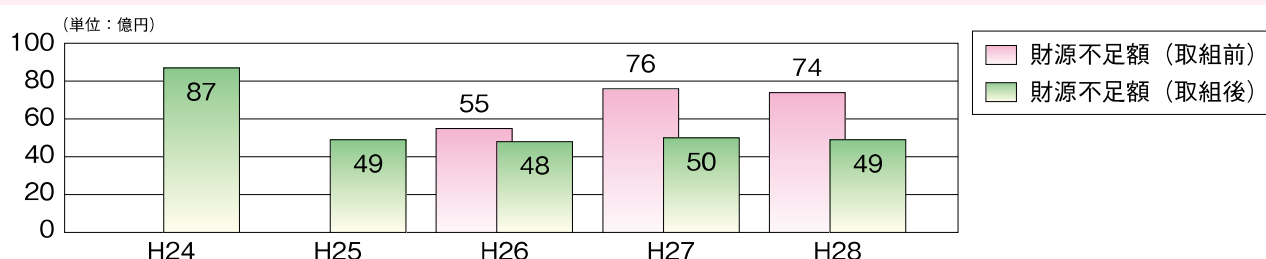
#### (2)内部努力の徹底

- 組織体制のスリム化
- 適正な定員管理
- 給与制度の見直し
- 管理的経費の節約
- 公債費の縮減

#### (3)歳入の確保

- 県税収入の確保
- 税外収入の確保
- 国への働きかけ

### ○「財政健全化取組方針」取組後の財源不足額の見込み





## 一世帯あたりの支出内訳

商工業の発展に  
130,745円



教育・文化に  
247,294円



福祉の向上と健康づくりに  
188,314円



合計  
1,013,627円



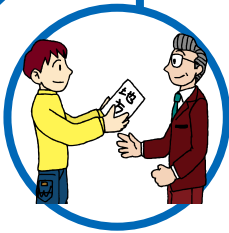
農林水産業の発展に  
48,676円



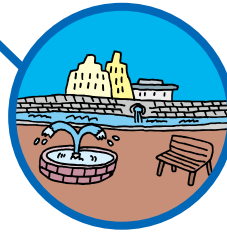
住宅・公園・下水道・道路に  
90,071円



犯罪・交通事故防止に  
57,477円



地方債の償還に  
132,428円



その他  
118,622円

758,879世帯 H25.1毎月人口調査

第69回国民体育大会冬季大会  
スケート競技会・アイスホッケー競技会

# ひかりの郷 日光国体

## リンクに競う 夢と感動 広がる未来

会期:2014年1月28日から2月2日まで  
場所:日光霧降アイスアリーナ  
日光霧降スケートセンター  
細尾ドームリンク  
今市青少年スポーツセンター



### ふるさと“とちぎ”への応援(寄附)を募集しています!!

みなさまからお寄せいただいたご寄附は、文化の振興、福祉の向上、医療の充実、環境対策や日光杉並木街道保護など、ふるさと“とちぎ”づくりのために幅広く活用させていただきます。

◎お問い合わせ先  
税務課 ☎028-623-2101

○クレジットカードでも寄附をすることができます。  
○ふるさと納税として、所得税、個人住民税の控除の対象になります。

### 栃木県宝くじ情報

みなさんへ  
宝くじは  
栃木県内で  
買ってね。



県内で発売された宝くじの収益金は、皆さんの身近な暮らしに役立っています。

◎お問い合わせ先  
財政課 ☎028-623-2018

### 栃木県経営管理部財政課

〒320-8501 宇都宮市埴田1-1-20

電話 028-623-2018

FAX 028-623-2030

URL <http://www.pref.tochigi.lg.jp>

E-mail [zaisei@pref.tochigi.lg.jp](mailto:zaisei@pref.tochigi.lg.jp)

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています